

鍛冶屋町通りの街並み保存と活性化を計る会
地域文化活動部門



概要

設立年月 平成13年11月
会長 立山 茂 (たてやま しげる)
会員数 15名
住所 人吉市鍛冶屋町43
主な活動地 人吉市鍛冶屋町

人吉市鍛冶屋町通りでは、従来からみそ蔵や茶蔵で伝統的な食文化を、そして鍛冶屋で農具などを紹介してきましたが、平成十三年度に入吉市から街並み環境整備事業取り組みへの勤めを受けたのをきっかけに、鍛冶屋町通りの街並み保存と活性化を計る会が設立されました。

街並み保存の住民協定を締結し景観づくりに取り組みむとともに、地域の文化資源を生かしたイベントの企画・運営などを通じて「職人町の再生」を目指して活動しています。

平成十五年度の第十六回県民文化祭において、「職人町の夜市」を開催した際は、人吉球磨鍛冶組合、人吉工芸会と一体となつて運営し、三十五年ぶりに「野鍛冶向う打ち」の実演を行い、また、工芸委員の作品展示をするなどしてまつりを成功させました。

県民文化祭以降、鍛冶屋町通りを舞台に見立て、各店舗に人吉球磨鍛冶組合や人吉工芸会の会員の秀作を常設展示し、人吉・球磨地方の文化発信に努めています。

そのほか、昭和四十年に熊本県重要無形民俗文化財に指定されていたものの、継承が危ぶまれていたウンスンカルタについて、県民文化祭で遊び方の紹介をするなどして復興し、平成十六年三月には「ウンスンカルタ遊びビデオ」を作成し、また、同年十月には第一回ウンスンカルタ大会を開催しました。これには、地元をはじめ、熊本市からも参加があったほか、駐日ポルトガル大使も参加し、国際交流、地域文化交流が深められました。

このように鍛冶屋町通りの街並み保存と活性化を計る会は、地域に伝わる文化素材を活かした、地域の文化発信、街づくりに貢献しており、今後の活躍も期待されています。

これまでの活動歴

平成十三年	九月	設立
平成十五年	二月	人吉市鍛冶屋町通り景観形成住民協定締結
平成十六年	二月	「人吉・球磨はひなまつり」参加
	三月	「楽しく遊ぼうウンスンカルタ」ビデオ作成
	十月	第一回ウンスンカルタ大会開催
平成十七年	二月	「人吉・球磨はひなまつり」参加